

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 8 巻第 49 号

第 49 週(12月1日～12月7日)

発行年月日:平成20年(2008年)12月11日

発行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

**インフルエンザは全国で急増、滋賀県では増加傾向！
感染性胃腸炎は甲賀で急増**

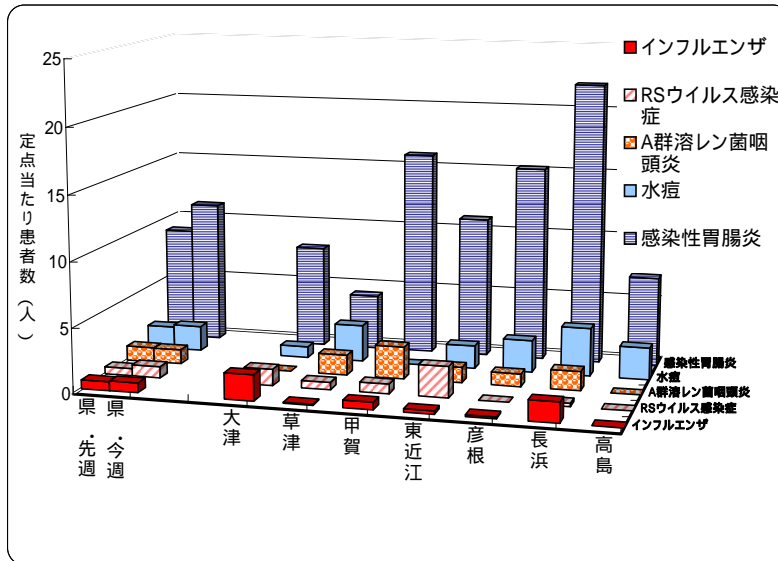
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週の報告数よりさらに多くなっています。今週はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘等大部分の疾患で増加し、減少した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、流行性耳下腺炎およびマイコプラズマは肺炎のみです(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、咽頭結膜熱(プール熱)では高島で、感染性胃腸炎では長浜で警報開始基準値(*)を越えています。

(*)：咽頭結膜熱---定点当たり患者数 2.00、感染性胃腸炎---定点当たり患者数 20.00

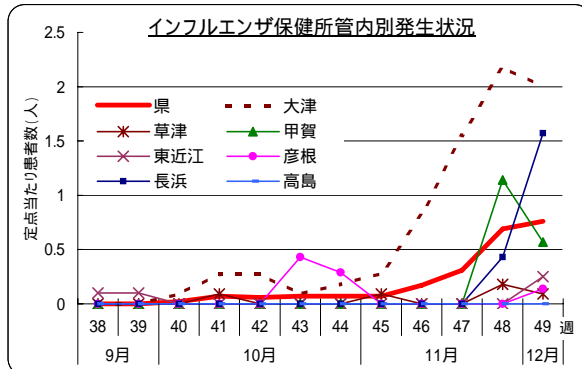
全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で7名、四類感染症のレジオネラ症で1名、五類感染症の梅毒で2名の届出がありました。

上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第49週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、A群溶レン菌咽頭炎、RSウイルス感染症、インフルエンザの順に多くなっています。感染性胃腸炎は、甲賀、彦根および長浜で多くなっています。水痘は長浜で、RSウイルス感染症は東近江でやや多くなっています。また、インフルエンザは大津および長浜からの報告が多くなっています。

インフルエンザの保健所管内別発生状況(平成20年第38～49週、H20.9.15～H.2012.7)



第38～49週の保健所管内別の発生状況はグラフのとおりです。県全体では第46週(11/10～11/16)から増加傾向となっています。また、第49週(12/1～12/7)には長浜で急増しています。今後、さらに増加する傾向がありますので予防に対する十分な注意が必要です。

また、年齢別では3歳、4歳、5歳および10～14歳でやや多くなっていますが、大きな偏りは見られません。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (49週)	累積報告数		平成19年報告数	
			滋賀 (49週)	全国 (49週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	7	266	25,871	178	20,151
三類感染症	細菌性赤痢	0	2	298	^{(*)2} 2	450
	腸管出血性大腸菌感染症	0	51	4,231	55	4,586
四類感染症	パラチフス	0	0	26	1	22
	E型肝炎	0	0	41	1	54
	A型肝炎	0	3	165	1	154
	コクシジオイデス症	0	1	2	0	3
	デング熱	0	2	98	1	89
	マラリア	0	1	52	1	52
五類感染症	レジオネラ症	1	10	825	8	655
	アメーバ赤痢	0	9	794	15	781
	ウイルス性肝炎	0	5	218	2	231
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	140	4	148
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	110	1	96
	後天性免疫不全症候群	0	11	1,431	9	1,449
	ジアルジア症	0	1	72	1	56
	梅毒	2	4	773	2	714
	破傷風	0	5	115	0	88
	急性脳炎	0	1	171	2	216
	風しん ^{(*)3}	0	2	293	-	-
麻しん ^{(*)3}	0	39	10,952	-	-	

*1: 平成19年の全国報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。

*3: 平成20年1月1日から全数把握対象疾患に変更。 - ; 定点把握対象疾患のため、全数報告数は未集計

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第49週(12/1～12/7) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: つつが虫病 33例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 12例
二類感染症: 結核 316例	日本紅斑熱 2例	劇症型溶血性
三類感染症: 細菌性赤痢 12例	レジオネラ症 6例	レンサ球菌感染症 1例
腸管出血性	レプトスピラ症 1例	バンコマイシン耐性
大腸菌感染症 34例	アメーバ赤痢 8例	腸球菌感染症 3例
腸チフス 3例	ジアルジア症 1例	ウイルス性肝炎 2例
パラチフス 1例	梅毒 12例	急性脳炎 1例
四類感染症: A型肝炎 1例	破傷風 2例	麻しん 8例
デング熱 1例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成20年第44～49週、10/27～12/7)

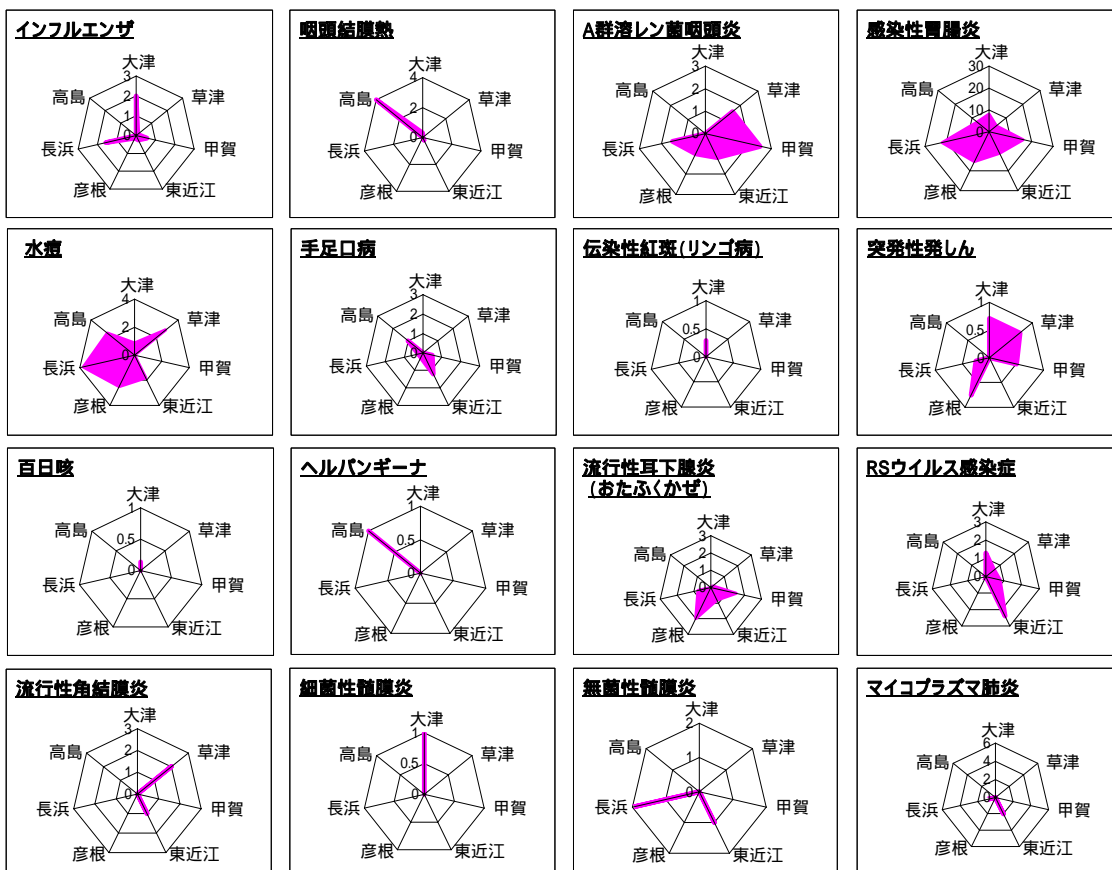
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	44週 (10/27～)	45週 (11/3～)	46週 (11/10～)	47週 (11/17～)	48週 (11/24～)	49週 (12/1～)	45	46	47	48	49
インフルエンザ	0.07	0.07	0.17	0.31	0.69	0.76					
RSウイルス感染症	0.27	0.30	0.55	0.85	0.58	0.88					
咽頭結膜熱(プール熱)	0.06	0.06	0.15	0.21	0.24	0.33					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.18	0.73	1.48	1.30	1.15	1.12					
感染性胃腸炎	4.55	4.88	5.76	8.55	8.91	11.15					
水痘	1.15	0.52	1.24	0.91	1.79	1.97					
手足口病	0.27	0.42	0.36	0.76	0.33	0.36					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0.03	0.06	0.06	0.06					
突発性発しん	0.24	0.06	0.39	0.36	0.24	0.48					
百日咳	0	0	0	0.03	0	0.03					
ヘルパンギーナ	0.15	0.03	0.15	0.03	0	0.06					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.03	0.94	0.97	1.09	0.97	0.67					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.38	0.38	1.63	0.75	0.38	0.38					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0.14					
無菌性髄膜炎	0.14	0.14	0	0	0	0.43					
マイコプラズマ肺炎	0.29	0.29	0.29	0.71	1.29	0.43					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第49週、12/1～12/7)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.76	2.00	0.09	0.57	0.25	0.14	1.57	0	
RSウイルス感染症	0.88	1.29	0.57	0.75	2.40	0	0.25	0	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.33	0.29	0	0	0.20	0	0	4.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.12	0	1.57	2.50	1.20	1.00	1.50	0	
感染性胃腸炎	11.15	8.00	4.29	16.00	11.00	15.25	22.00	7.00	
水痘	1.97	0.86	2.86	0	1.80	2.50	3.75	2.50	
手足口病	0.36	0	0	0.50	1.20	0.25	0.25	1.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.29	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	0.48	0.71	0.71	0.50	0	0.75	0.25	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.67	0	0.14	1.50	0.80	2.00	0.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.38	0	2.00	0	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.43	0	0	0	1.00	0	2.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.43	0	0	0	2.00	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加
 ■ は警報発生中
 ■ は注意報発生中
 0 3 6 9 12
定点当たり患者数(人)

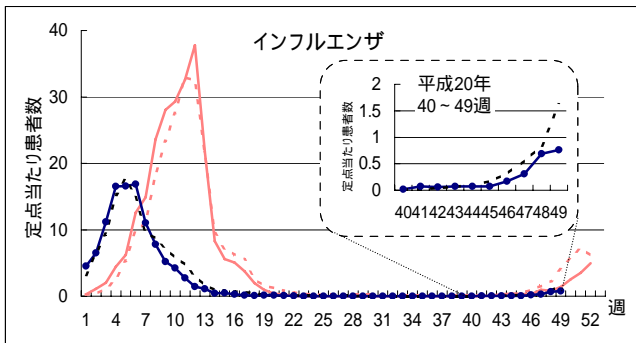
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

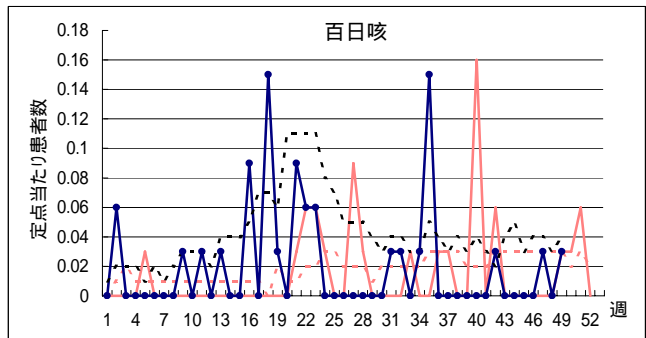
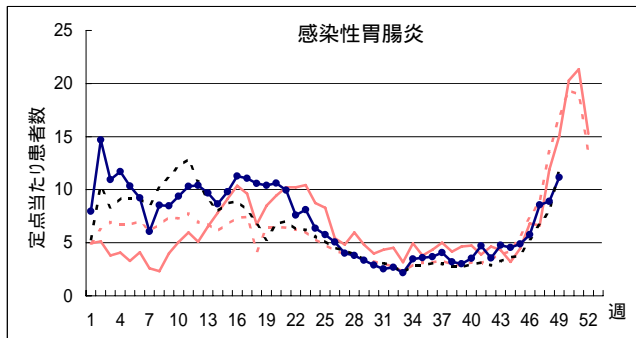
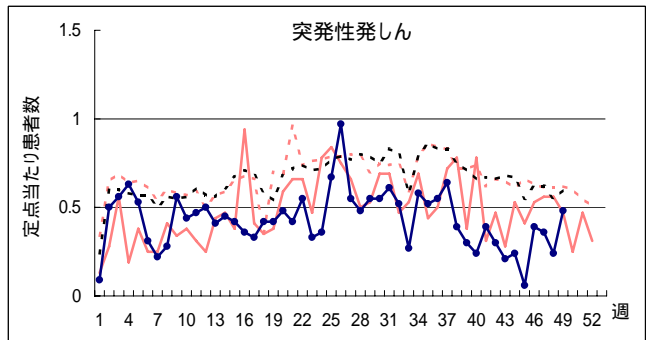
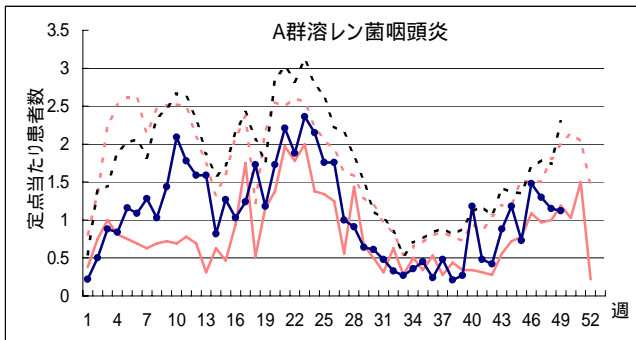
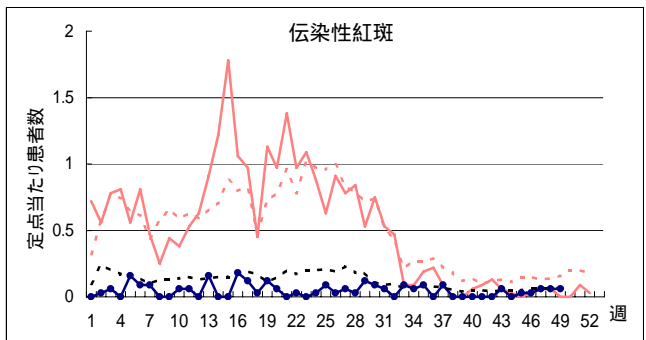
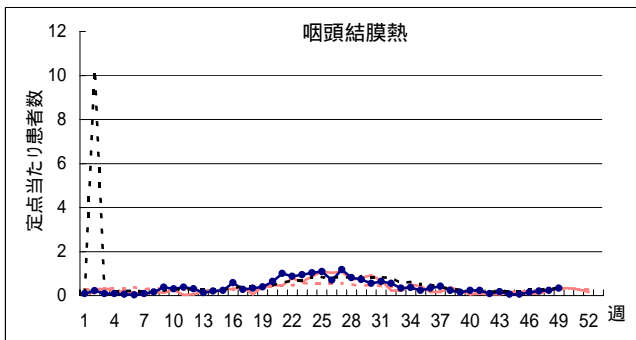
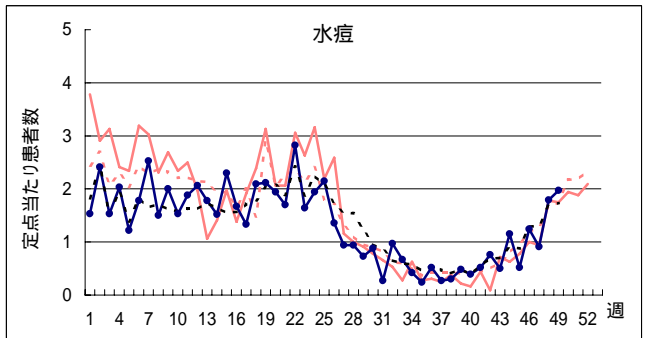
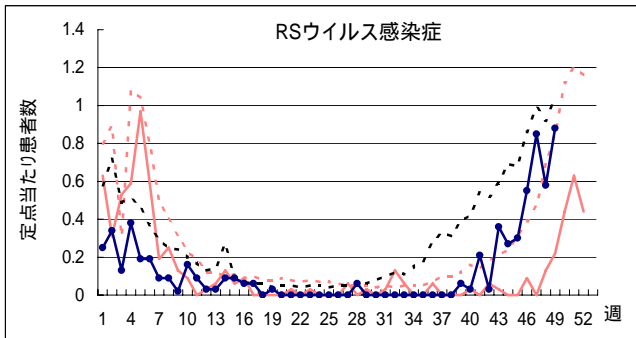
- インフルエンザ-----長浜で先週より急増しています。大津では先週に引き続き多くなっています。
- 咽頭結膜熱-----高島で急増し定点当たり患者数は4.00となり警報開始基準値(2.0)を超えています。年齢別では1歳からの報告が多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----甲賀で先週より急増しています。また、長浜の定点当たり患者数は22.0となり警報開始基準値(20.0)を超えています。
- 水痘-----草津、長浜および高島で先週よりかなり多くなっています。また、県全体での年齢別発生割合は3～5歳で多くなっています。

疾病別定点当たり患者数(平成20年第49週、H19.12.31～H20.12.7)

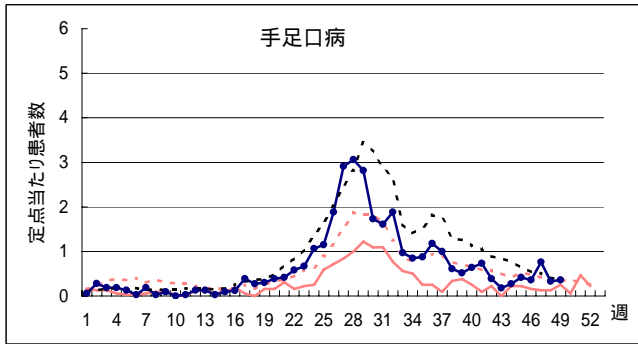


H19 { 滋賀 (solid red line)
全国 (dotted red line)

H20 { 滋賀 (solid blue line with dots)
全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成20年第49週、H19.12.31～H20.12.7)



H19 { 滋賀 ————
 全国
 H20 { 滋賀 ●—●—
 全国

